

春の「活力朝礼」の研修会開催

幹部社員・新入社員27名が参加

4月18日(金)午後3時から午後5時までの約2時間 山形グランドホテルにて山形市蔵王倫理法人会の会員27名が参加して活力朝礼の研修会が開催されました。

今回の講師は北海道・東北方面方面長に新任された森本 宏方面長です。

前半の1時間は話し合いをする時に腕を組んだり、顔を見ないでよそ見をしていた場合どのように感じますか？

逆の場合はどうですか？隣同士また相手を変えたりして感想を話し合いました。

休憩を入れまして、後半は活力朝礼を担当の役割を交代しながら大きな声を出して実践しました。

講師が述べられた重要点をまとめますと

1 姿勢 ・2 声・ 3 リズムの3点です。

「気をつけ」の姿勢、「顔はあごを引く」、「肩はリラックス」、「腰は自然に背筋を伸ばす」、「手は指を隙間なくきちんと伸ばし、ズボンの縫い目に付ける」、「足は揃えてかかとをつける」

活力朝礼の命は、テンポとタイミングが大事です。

1 進行のリードが、朝礼の活力化の鍵

2 大きな声を出す事が、自らの潜在能力を引き出す。

3 早すぎても、遅すぎても間が抜ける。最高のタイミングをつかもう！

4 動作は心の表れ、機敏に、爽やかに！

5 1人ひとりの澄んだ気持ちで、1日のスタートをよりよいものにしていく。



活力朝礼に参加された方は大きな声を出して実践されたせいか、皆さん汗をかくほどの研修になりました。講師の先生の教えを会社に持ち帰って少しでも取り入れていただきたいと思います。

最初は初対面の方ばかりでしたので緊張して硬くなっておりましたが、握手をしたり、話をしたり、自己紹介を休憩時間にしたりしたせいか 前からの知人のように親しみを感じられました。

時間が大変短く感じられた方が多かったようでした。倫理講演会の活力朝礼実践は今回のメンバーを中心に選出される予定です。

朝礼研修の後、幹部研修が開催されました。

講師は引き続きまして森本方面長です。

テーマは『3 倫理運動の草創期』と題して 丸山敏雄の誕生から倫理運動への取り組み・考え方亡くなるまでの年代ごとの活動記録を勉強する事ができました。

終戦から約6年の間に倫理運動の基礎がほとんど確立されたことがわかりました。

参加者は8名と少なかったのですが大変貴重な研修を受ける事ができました。その当時に書かれた万人幸福の葉は50年以上前に書かれたとは思えない文章で現在でも感動を受けております。

観桜会が開催され、会員29名が参加されました。

朝礼研修・幹部研修の後、山形市蔵王倫理法人会 観桜会が開催されました。

29名の参加者がありました。今回は家族の参加をしませんでしたので昨年よりも少なかったのですが森本新方面長の歓迎会も兼ねての開催になりました。

写真にもありますように観桜会のために『桜がなくてはダメだ』と池田事務長がどしゃぶりの雨の中を知人からいただいた桜の木を会場に運んでくれました。

鈴木会長の歓迎の挨拶、森本方面長の感謝の言葉、浦山副会長の乾杯の音頭で楽しい会食が始まりました。初めて参加された方は名刺交換、自己紹介といろいろな話題で盛り上がりました。

中締めは小野広報委員長の花笠締めで閉会となりました。



第209回 モーニングセミナー開催

講師は昨日から引き続きまして森本方面長です。

今回のテーマは『実践力』です。

最後にまとめられた事は

- ① 先祖を守り、生きる力を与えてくれる両親の墓参りをする。
- ② 休憩と安らぎを与えてくれる。家庭が大事
- ③ 人間教育の手本 後姿で教える。躰 うつけもの
- ④ 親の世話をする。菓匠三全の田中社長の教え
『正直に生きる。天はみているぞ！』
- ⑤ 夫婦の愛をはぐくむ。小さな事に関心を持つ
夫が妻に対して特に関心を持つ事が必要です。



モーニングセミナー終了後 桜満開の霞城公園・最上義光銅像を視察されました。

朝礼研修・幹部研修・観桜会・MS の講師とお世話になりありがとうございました。